

知的障害者・発達障害者に配慮した公共空間整備に関する研究

－発達障害者に配慮した音響環境を中心に－

大西俊介 中園正吾 大森清博

1 はじめに

バリアフリー法の施行（2006年）に伴い旅客施設、道路および建築物等において、高齢者、障害者等の移動等の円滑化のための整備が進んでいる。しかしながら、現状では知的障害者・発達障害者に対しては、配慮の必要性は述べられているがガイドラインづくりの現場でも課題を残したままである。とくに、発達障害者の多くは音環境に対して過敏であることが知られており、イヤーマフ等の商品もあるが、吸音や音響コントロール等環境の側でセーブできることも多く、報知音や暗騒音レベル、休憩空間等についてどのように配慮すべきか明らかになっていない。

本研究は主に発達障害者に配慮した音響環境の配慮指針を策定することを目的とする。まず、発達障害者本人や支援者向けのアンケート調査により苦手とする音環境と現状の対応状況を明らかにする。そして、県内の大型店舗、鉄道駅等を対象とした現場検証（可能であれば発達障害者とともに）を行い、苦手とする音の計測や要因等を整理したうえで配慮すべきポイントをまとめる。

2 調査

2.1 調査方法

国内各地で開催される発達障害者支援関連のセミナー・講演会に出向き、成人当事者及び発達障害児の保護者である参加者にアンケート用紙を配布して実態調査を行い100名分回収し有効数は88名分であった。

2.2 調査内容

年齢、性別、所属、障がい名、住所（都道府県）、苦手とする音の有無、苦手とする音の種類（自由記述）、対策の有無と内容（自由記述）、日常生活での支障の有無と内容（自由記述）、聴覚以外の感覚異常（自由記述）について調査した。

2.3 調査結果

2.3.1 回答者のプロフィール

回答者のプロフィールは次のとおりである。

○年齢：未成年76名、成人12名

○性別：男67名 女21名

○所属：保育園5名、幼稚園2名、小学校8名、中学校1名、高等学校1名、大学1名、特別支援級21名、特別支援学校23名、福祉作業所3名、通所福祉施設4名、無し2名、不明（無記入）17名

○住所：東京都8名、埼玉県6名、長野県11名、福井県14名、兵庫県17名、岡山県7名、広島県11名、山口県14名、愛媛県4名、不明（無記名）2名

2.3.2 苦手な音の内容

ほとんどの回答者が複数の苦手な音をあげた。

回答者の多くが示した苦手な音の内容は表1のとおりである。

児童の中には少數ながら教室のざわつき、音楽の授業、体育館の反響音といった回答も見られ、学校での授業に支障が出ていることが伺えた。

2.3.3 苦手な音への対策

苦手な音に対しての対策を立てている回答が多く見られた。主な対策は表2のとおりである。

2.3.4 日常生活での支障

聴覚過敏からくる日常生活での支障としては、

- スーパー・マーケットへ買い物に行くことができない（4名）
 - 苦手な音でパニックになる（3名）
 - 外出先でトイレに入ることができない（3名）
- 等があげられた。

2.3.5 聴覚以外の感覚異常

聴覚以外の感覚異常については

- 触覚等の皮膚感覚に関するもの（75名）
 - 嗅覚（12名）
 - 視覚（5名）
 - 味覚（3名）
- 等があげられた。

表1 苦手な音の内容

乳幼児の泣き声	20名
公衆トイレのハンドドライヤー	9名
雷	8名
デパート／スーパー・マーケットの店内放送	7名
打ち上げ花火	7名
掃除機	6名
体育大会（運動会）のピストル（スターター）	6名
バイクの音	6名

表2 苦手な音への対策

イヤーマフ又は耳栓の着用	31名
予め避ける	28名
音源から離れる	23名
自分の手で耳を塞ぐ	11名
ヘッドフォンで音楽を聴く	5名

3 考察

表1にあげた内容以外にも、様々な苦手な音の記載があったが、多くの場合、室内外を問わず、突然の大きな音、ざわついだ音という共通点が多くの回答から考察することができた。

雷、犬の鳴き声等の自然現象については対応が困難であることが考えるが、デパート／スーパー・マーケットの室内放送等の人工的な音源に関しては、対応策を検討したい。

謝辞

当初の計画では、サンプルとして50名程度のアンケート回収を目指していたが、思いのほか多数（回収数100、有効数88）回収することができた。アンケートの実施に快くご協力いただいた、講演会・セミナーの主催者及びアンケートにご記入いただいた参加者の皆様にはこの場を借りて、心より謝意を表す。

参考文献

- 1) 稲福繁、伊藤真理、早川徳香（南山大学）、井脇貴子、鈴木朋子、船崎康広、吉田敬：「自閉症スペクトラム障害における聴覚過敏」、pp.1-7、健康医療研究 第3号、2013
- 2) 金波詩明、園田眞理子：「自閉症スペクトラム障害のバリアフリー環境に関する研究 一当事者の記述からみた建築環境における困難ー」、日本建築学会計画系論文集 第77卷 第676号、pp.1325-1332、2012